櫛形西小だより
第 18 号

あかるい希望

令和 8 年
10月5日
発行者
河野太郎

西っ子祭り

9月29日（火）の3・4時間目に，「西っ子祭り」が行われました。子どもたちが夏休み明けから少しずつ準備してきた取組です。

この西っ子祭りは，子どもたちが縦割り班に分かれ，輪投げやくじ引き，ボーリングなどのゲームを体験するお祭りです。子どもたちはそれぞれのブースを巡り体験もするのですが，交代でブースも担当します。夏休み明けからの準備は，このブースの準備が多くを占めました。休み時間に決められた場所に集まり，ブースで使う道具や景品の準備を行ってきました。ミサンガやしおり，折り紙で折った鶴などを丁寧に作っていました。この手作り感が何とも言えません。

本番では班ごと交代しながらブースをまわる中で，ゲームを楽しんだり，ブースの担当として来てくれる班（お客さん）を出迎え，ゲームの説明をしたり景品を渡したりしながら楽しい時間を過ごすことができました。長雨でちょっと外に出る機会が少なかったこの頃ですが，子どもたちの気持ちを元気にしてくれた行事になりました。

お蚕さんってすごい！！

2年生が育てたお蚕さんも1学期の終わりには糸を吐き終え，子どもたちが用意した団扇もきれいな糸で覆われました。

その後，2年生の子どもたちは自分たちで育てた蚕について，更に調べ学習を進め，調べたことを紹介できるよう大きな紙に絵や文章でまとめる作業を進めてきました。

9月29日（火）には，養蚕指導をしてくださった田頭の野田さんにお越しいただき，その学習の成果を発表することができました。蚕がどんな風に成長していくのか，その成長を写真や絵，文章でわかりやすくまとめたり，蚕について考えたクイズを出したりして，本当に楽しい発表になりました。蚕の吐く糸の長さについても調べ，その長さが1300M～1500Mにもなると知り驚いた子もたくさんいました。

これまで蚕についてご指導いただいた野田さんからも，
「すばらしい発表でした。これなら，もっと小さい蚕の卵くらいからでも育てられると思います。」
とお褒めの言葉をいただきました。発表会で使用した資料は，まだ 2 年生の教室に掲示してあります。　学校に来られた際は，是非 2 年生教室にも足をお運びいただきご覧ください。

伊奈ヶ湖の歴史を学ぶ（4年生）

毎年４年生は伊奈ヶ湖の歴史について学んでいます。今年も中野の入倉さんにご来校いただき，伊奈ヶ湖のできた背景や当時の作業について詳しく話していただきました。

伊奈ヶ湖は，北伊奈ヶ湖と南伊奈ヶ湖がありますが，どちらもこの西地区にとっては大事な水源になっています。北伊奈ヶ湖は，1700年以前には既に農業用貯水池として利用されていたようですが，南伊奈ヶ湖は，昭和25年に完成しています。こちらは，その当時の干ばつと戦後の食糧難を解決するための農業の拡大を推進するために造られました。山の中腹に，現在のような重機もない時代に巨大な湖を造るわけですから容易なことではありませんでした。入倉さんの話によると約８年もの歳月がかかったそうです。

学習会の中では，当時の生活や工事の様子，使われた道具などが絵や写真で説明されました。また工事の事故で亡くなる方も出るほど地域の人たちが命懸けで造り上げたことを知ると，子どもたちも伊奈ヶ湖を大切にしていく気持ちを高めていました。

これまでもエコパ伊奈ヶ湖での林間学校，これから行う学校林下草刈，そして白鳥の餌集めを通して，伊奈ヶ湖周辺の自然や資源について学び，地域の文化として大切にしていく意識を高めていきます。

楽しく食べよう（～全校給食）

今学期から進めている活動の一つに，毎週金曜日，あやめホールに全校で集まり一緒に給食を食べる全校給食の取組があります。これまで，学期に一度くらいは児童会主催で実施してきましたが，今学期から，毎週行うことになりました。一つは，できる限り多くの人と仲良くなること，もう一つは担任以外の教師とも交流を深めることもこの活動の目的です。私たちも全職員で全校児童をみていく気持ちでいますので，そうした意味でもいい取組になっています。

金曜日の４時間目が終わると，早く来た学年からあやめホールにシートを敷いて準備を始めます。あやめホールの真ん中のスペースに班ごとシートに座るイメージです。その周りを取り囲むように，各学年の配膳台が置かれ，子どもたちは自分の学年で配膳します。最初こそ時間がかかりましたが，最近では短時間で準備ができ，全校揃って食べ始めることができています。

この取組のよいところは，まずは異学年で交流しながら楽しく食べることができることです。普段聴くことができない話題もあり，子どもたちも友達の話を楽しく聴きながら食べています。もう一つは，嫌いなものにチャレンジできることです。普段はどうしても食べることができないものも，上級生や下級生が食べているの見て，ちょっと挑戦してみる気持ちになれます。そんな気持ちになれるところがこの取組の良さだと考えます。また職員側から考えると，他学年の児童の新しい発見があることです。活動の中で子どもたちの頑張っている姿に気づくことができ，とても有意義な活動になっています。